



【アグリノート】
家庭菜園情報

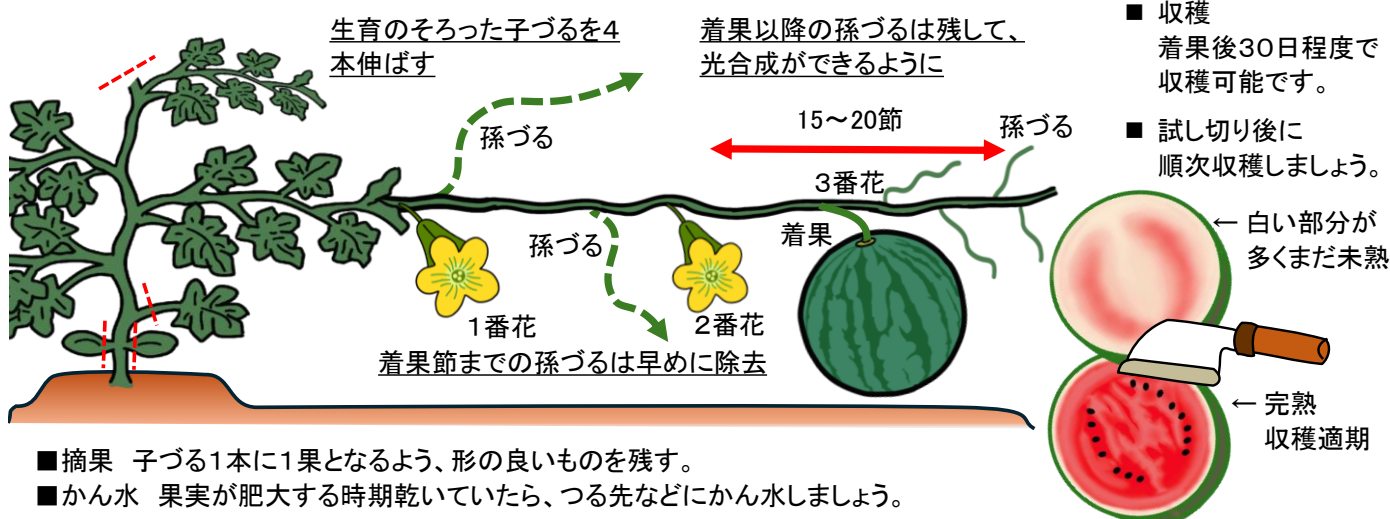
JA福井県

いよいよ本格的な夏野菜の収穫期が始まります。近年は日中の猛暑など天候の読みづらい日々が続いております。これからさらに暑さが厳しくなりますので、こまめな天気予報の確認と、野菜に応じた適切なかん水管理を心掛けましょう。また、熱中症のリスクが非常に高まる時期です。水分・塩分補給と休憩を徹底し、体調管理にご注意ください。

今回は「小玉スイカ」と「ナス」の栽培ポイントをまとめました。今後の管理にぜひご活用ください。

1. 小玉スイカ

夏に甘く、ビタミンやミネラルが豊富な小玉スイカを収穫するために、摘芯・着果やかん水などの管理を適切に行いましょう。



2. ナス

高温や多湿に比較的強いナスは家庭菜園でも人気の作物です。追肥やかん水を適切に行い長く収穫を楽しみましょう。

■ 追肥

- 1回目は一番果の肥大したタイミングで行う
- 以降は生育を確認しながら、10日から2週間間隔で行う
- 施肥の位置は、株元から徐々に離していくように施用する

■ かん水

- 多くの水分が必要
- 土壌水分を一定に保つことで根の活力を維持
- 乾燥期には夕方にかん水する

水分が不足すると果実のかたい『つやなし果』が発生します！
乾燥には注意しましょう。

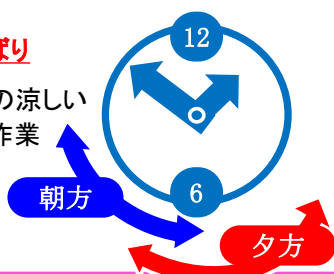


3. 農作業時の熱中症に注意しよう。(予防方法)

梅雨明け直後は高温になりやすいです。体が暑さに慣れていないこともあり、農作業中の熱中症事故が多発します。熱中症を正しく理解し予防に努めましょう。

①温度に気くばり

朝方や夕方の涼しい時間帯に農作業



②暑さをしのぐ服装

帽子、通気性の良い衣類の着用 (空調服)



③こまめな水分と塩分補給

- おすすめドリンク (麦茶500ccに梅干し1個を入れる)
- こまめな休憩



今回のアグリノート菜園は、坂井営農経済センター(園芸振興課) 長谷川が担当しました。